[「心臓リハビリテーション」投稿・執筆規定]

【本誌の目的】

1. 心臓リハビリテーションに関連する研究を公表し、心臓リハビリテーションの発展に寄与する。
2. 日本心臓リハビリテーション学会の記録や資料などを掲載する。

【投稿規定】

1. 投稿論文の種類
   - 日本心臓リハビリテーション学会および各種関連学会・研究会において発表された論文。
   - その他、本学会の趣旨に合致する未発表原著論文および症例報告。
   - その他、本学会の趣旨に合致する未発表論文（総説、特別寄稿、紹介、資料など）。
   - 編集委員会、掲載内容等に対する意見などは Letters to the Editor として受け付ける。
2. 投稿者の資格
   - 本誌への投稿は、筆頭著者は本会の会員に限る。ただし，編集委員会が認めた場合はこの限りでない。
3. 投稿原稿について
   - 投稿原稿は、未出版かつ他誌に投稿中の原稿でないこと。

4. 倫理的配慮
   - ヘルシンキ宣言に基づき対象者の保護には十分留意し、倫理的な配慮に関する記述をすること。
   - 倫理審査を受けて承認されている場合は承認番号を記載すること。
   - 文部科学省、厚生労働省告示の『人を対象とする医学系研究に関する倫理指針』を遵守する。

5. Authorship
   - 論文への責任および著作権譲渡の確認のため、投稿にあたっては、すべてのチェックボックスに☑を記入し、著者、共著者全員が別紙の「Authorshipに関する書類」に自筆署名捺印をすること。
   - 論文投稿時に他のファイルと共にファイル（authorship.pdf）をアップロードすること。

6. 著作権および出版権
   - 本誌に掲載された論文（図表，写真を含む）の著作権および出版権は日本心臓リハビリテーション学会に帰属する。
   - 内容の一部または全部を引用・転載する場合には事前の許諾を必要とする。
   - 本誌掲載論文はオンライン公開される。

7. 利益相反（Conflicts of Interest：COI）
   - 投稿・執筆規定にある利益相反に関する書類を著者全員分作成すること。
   - 著者（全員）は、利益相反に関わっていない場合でも、書類を提出すること。
   - 責任著者は、著者全員分の書類を集め、論文投稿時に他のファイルと共にファイル（coi.pdf）をアップロードすること。

8. 原稿の採否および掲載について
   - 投稿原稿の採否および掲載順は編集委員会が査読結果に基づいて決定する。
   - 心臓リハビリテーション学会で発表し、座長より推薦を受け投稿された論文についても、15巻1号以降は編集委員会が査読結果に基づいて採否を決定する。
   - 依頼原稿についても、編集委員会が必要に応じて修正、削除、加筆など原稿の訂正を求めることがある。
   - 訂正を求められた著者が、原稿を返送された日より60日以内に再提出しない場合は投稿を取り下げたものとする。なお、特別な理由で延長する場合は必ず事務局に連絡すること。

9. 校正
   - 著者校正は原則として1回とする。

10. 掲載料
    - 掲載料は、規定枚数以内は無料とする。ただし、規定枚数を超過した場合は、超過分に要した費用を徴収する。
    - カラー掲載は実費負担とする。

11. 別刷り
    - 50部単位にて申し受け、実費を徴収する。

12. 論文投稿方法
    - 論文の投稿は，電子投稿システム「Scholar One Manuscripts™」で行う．（以下S1Mという）
      学会ホームページよりS1Mのサイトにアクセスし，アカウントを作成する（初回投稿時のみ）．連絡先・メールアドレスなどの変更がある場合は，各自でアカウント情報の修正を行うこと。
    - 論文を投稿する際は、共著者の一人を責任著者にするよう求められる。ここでいう責任著者とは、論文の審査状況、査読者のコメント、最終決定を含む、すべての通知を事務局より受け取る、当該論文の総責任者となりうる者である。
    - 論文は，以下に示すファイルに分けて，投稿ウェブサイトからアップロードする．実際の投稿の仕方は，投稿マニュアルに記載してあるので参照のこと。
      1）論文原稿：
      標準的なフォント（MS 明朝，MS ゴシック）を用いたMicrosoft社のWord（DOC（X））で作成する。
      2）表：
      標準的なフォント（MS 明朝，MS ゴシック）を用いたMicrosoft社のExcel（XLS（X））またはWord（DOC（X））で作成する．
      3）図：（キャビネ版程度の大きさにする）
      DOC（X），XLS（X），PPT（X），JPG，TIFF，GIF，AI，EPS およびPSD フォーマットなどのオリジナルファイルをアップロードする．印刷原稿の解像度として，写真300dpi以上、線画600dpi以上を必要とする．
      4）Authorshipに関する書類：オリジナルファイルをアップロードする。
      5）利益相反に関する書類：オリジナルファイルをアップロードする。

    - ファイル名：
      アップロードファイルは，次のように半角英数字を用いて名前を付ける（拡張子は例示）。
      論文原稿：例）Maindocument.doc
      表：例）Table1.xls Table2.xls Table3.xls
      図：例）Fig1.jpg Fig2.jpg Fig3.jpg
      Authorshipに関する書類：例）authorship.pdf
      利益相反に関する書類：例）coi.pdf

    - アップロード時の注意：
      1）アップロードするファイルサイズは，すべてのファイルの合計で20MBまでとする。
      2）アップロードしたファイルはS1Mサイトで送信前に表示されるPDF形式で確認する．その際，書式，文字化け，画像の鮮明度，アップロードしたファイルが全てPDF形式に変換されているかなどを必ず確認する。
      3）最後に「送信」ボタンをクリックすると投稿完了。

13. 投稿前の最終チェック
    - 「投稿規程」、「執筆規定」に合わないものは、原稿を返送し、修正を求めることがある。

問い合わせ先
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-23-1-260
日本心臓リハビリテーション学会　編集委員会
E-mail: jacr-society@umin.ac.jp

Presented by Medical*Online

【執筆規定】

1. 要旨

400字以内で、「目的」、「方法」、「結果」、「結論」を書き分けて簡潔に記載する。

2. 論文（本文）

● 原稿の長さ

1) 図表を含めて刷り上がりページ数で以下のものを基準とする。原著論文8ページ以内、症例報告4ページ以内、総説6ページ以内、特別寄稿6ページ以内、紹介4ページ以内、Letters to the Editor1ページ以内。

2) なお、刷り上がり1ページは400字詰め原稿用紙約4枚、1600字に相当。表、図、写真は同原稿用紙1枚として概算すること。

● 本文

1) はじめに（序論または緒言。目的を含む）、対象および方法、結果、（成績）、考察、結論で構成すること。

2) 研究費交付および謝辞は本文末尾とすること。

3) 図表（写真を含む）の挿入位置は本文の右欄外に指示すること。

● 見出し記号

1) 大見出しから順に、1.、2. ...、a).、b)....、1)、2) ...とすること。

● 度量衡単位

1) 度量衡単位は原則として国際単位系（SI単位）を用いること。

2) 長さ：mm、cm、質量：pg、mg、g、kg、時間：s、min、温度：℃、周波数：Hz等。

● 学術用語

1) 日本内科学会用語集、日本循環器学会用語集に準ずること。

2) 外国人の人名、地名、薬品名は原語のまま使用し、日本語化しているものはカタカナを用いること。

● 略語

1) 略語は初出時にフルスペルで（必要に応じ和訳も）記載すること。

● 機器名の記載法

1) 機器名は、「一般名（会社名、製品名）」で記載すること。

● ページ番号および行番号

1)原稿にはページ番号および行番号を印字すること。

● 原稿の書式

1) A4用紙

2) 余白上下、左右25mm

3) 40文字×30行

4) 12ポイント明朝体

【文献】

● 引用文献のみとし、本文中の引用個所には文献番号を右肩に記入して、引用順に並べること。

● 引用文献はオリジナルなものとし、抄録の引用は避けること。

● 雑誌の場合は著者氏名、論文題目、雑誌名、巻、ページ、発行年（西暦）の順に書く。単行本の場合は著者名、表題、書名、版数、編集者名、発行社名、発行地名、ページ、発行年（西暦）を記載すること。

● 雑誌名の省略は，欧文雑誌にあっては“Index Medicus”のList of Journal Indexedに従い、和文雑誌は「医学中央雑誌」の収録雑誌略名表に従うこと。

● 引用文献の著者氏名が4名以上の場合は最初の3名を書き、他は、他、またはet alとすること。

【文献　例】

1. 雑誌

著者名（姓が先）：論文題目．雑誌名．巻ページ，発行年（西暦）

● 欧文雑誌

＜例＞

Goto Y, Itoh H, Adachi H, et al: Use of exercise cardiac rehabilitation after acute myocardial infarction. Circ J 67:411-415, 2003

● 和文雑誌

＜例＞

長谷川恵美子，長山雅俊，伊達理恵，他：リハビリテーションにおける精神面からの支援プログラムの検討．心臓リハビリテーション11：159-162，2006

2. 単行本

● 欧文

著者名（姓が先）：表題．In：編集者名，editor（s）．書名．サブタイトル，版数．，発行地名：発行社名；発行年（西暦），始めの頁数－終わりの頁数

＜例＞

Braunwald E, Perloff JK: Physical examination of the heart and circulation. In: Braunwald E, Zipes DP, Libby P, editors. Heart Disease: A Textbook of Cardiovascular Medicine, 6th ed., Philadelphia: WB Saunders; 2001. p.45-81

● 和文

著者名：表題．書名，サブタイトル，版数，編集者名，発行社名，発行地名、発行年（西暦），始めの頁数－終わりの頁数

＜例＞

小池朗：第Ⅳ章　各種疾患と心肺運動負荷テスト　1．心疾患，心肺運動負荷テストと運動療法，谷口興一，伊東春樹　編集，南江堂，東京，2008，p193-215

● ホームページ

＜例＞

野原隆司：心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン（2012年改訂版）

http://www.j-circ.or.jp/guideline/pdf/JCS2012_nohara_h.pdf（参照　2015-09-14）

【図表】

● 図表の作成について

1) 図表は400字詰め原稿用紙1枚と換算する（図・表の転載は投稿前に著者の責任で転載許可をとり、許可書を提出すること）。

2) 各図表には、表題を付けること。

3) 図には、原則として説明文を付けること。

4) 必要がない限り表に縦線は使用しないこと。

6) データは、検証、追試を行いやすいように図（グラフ）よりも表にして数値で示すこと。

7) 図表の中で使用する略語は図表の欄外に内容を明記すること。

● 図や写真の解像度について

1) 図：印刷物からスキャナで画像を取り込む場合は、横7.8 cmを基準として150 dpi以上の解像度とすること。

2) 写真：写真は原寸印刷が可能なように、画像データのサイズは縦または横7.8 cm以上を基準として150 dpi以上の解像度とすること。

3) 被写体の人格権を尊重し、X線写真などの氏名、IDなど個人を特定できる可能性のある情報は必ず塗りつぶすこと。

Presented by Medical*Online